

令和4年度 町財政の
「健全化判断比率」
「資金不足比率」
「経常収支比率」

実質公債費比率・将来負担比率ともに基準値内であり、
財政の健全性が保たれている 状況です。

(単位：%)

区分	2年度	3年度	4年度	
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	-	-	-
	連結実質赤字比率 (20.0)	-	-	-
	実質公債費比率 (25.0)	9.6	9.2	9.2
	将来負担比率 (350.0)	36.6	14.0	5.4
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	-	-	-
	公共下水道事業特別会計	-	-	-
経常収支比率	88.0	88.1	87.6	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないため、「-」で記載しています。()内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体(黄信号)として、自主的・計画的な改善が義務付けられます。

※1 標準財政規模…その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源(用途の特定がない財源)の規模【桑折町はおおむね38億円程度】

財政健全化法に基づく指標として、健全化判断比率、資金不足比率がありますが、そのうち、実質公債費比率、将来負担比率は基準値内であり、公営企業(水道・公共下水道事業)会計の資金不足比率も資金不足がないことから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、令和3年2月本県沖地震災害復旧事業に係る借入に伴い、元利償還金が増加したことで単年度では増加したものの、3か年度平均で見ると、増減はありませんでした。将来負担比率は、町債償還が着実に進展し借入金残高が減少したことなどにより8.6ポイント減少しました。

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金(借金の返済)の標準財政規模※1に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

将来負担比率

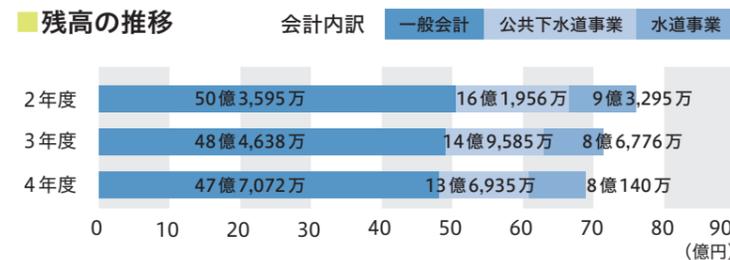
一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※1に対する割合。将来負担見込額から基金などを控除したものが年間収入の何%に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

経常収支比率

経常的経費(人件費や扶助費など)の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。4年度県市町村平均は89.4%。

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率と将来負担比率に大きく関わってきます。右記のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。



令和4年度末 町債などの残高

会計区分	3年度末残高(A)	4年度借入額(B)	4年度償還元金(C)	4年度末残高(A)+(B)-(C)	
町債	一般会計	48億4,638万円	3億8,099万円	4億5,665万円	47億7,072万円
	公共下水道事業特別会計	14億9,585万円	3,180万円	1億5,830万円	13億6,935万円
企業債	水道事業会計	8億6,776万円	-	6,636万円	8億140万円

令和4年度
主な使いみち

「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしいまちづくりに取り組みました。重点プロジェクトと基本構想別に、主な事業を紹介します。

重点プロジェクト	(単位: 万円)	健康長寿で元気なまちづくり
相馬福島道路伊達桑折IC周辺土地利用検討事業	687	健康づくりと医療の推進(新型コロナウイルス感染症予防事業、予防接種事業、特定健診など) 16,748
消防ポンプ車購入事業	2,250	地域福祉と障がい者福祉の推進(障がい者福祉扶助費、住民税非課税世帯臨時特別給付金事業など) 39,373
住宅用再生可能エネルギーシステム設備等設置費補助事業	345	高齢者福祉の推進(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、敬老の日記念事業など) 2,971
こおり健康楽会事業	293	生涯学習の推進(公民館運営推進員の配置) 702
学力向上対策事業	5,876	生涯スポーツの推進(スポーツ・健康講演会など) 212
桑折西山城まつり事業	999	子どもを大切にすまちづくり
活力と賑わいに満ちたまちづくり		子育て支援の充実(子ども医療費助成事業、子育て応援商品券給付事業、ネウボラ事業など) 10,245
農業の振興(地域おこし協力隊委託事業、営農再開支援事業、有害鳥獣対策事業など)	14,620	乳幼児保育と教育の充実(保育所運営業務、幼稚園運営業務、放課後児童保育事業など) 30,794
商工業の振興(空き店舗出店支援事業、商工業活力再生事業、商店街活性化推進事業)	233	学校教育の推進(特別支援教育の充実、学校施設の修繕改修事業、給食センター設備機器更新など) 6,605
コロナ・物価高騰対策事業(GoToEatこおり食事券発行事業、運送事業者等支援金給付事業など)	5,639	交流で絆を育むまちづくり
土地利用の推進(町都市計画マスタープランの見直し、蚕糸跡地活用関連事業)	870	観光交流の振興(町民研修センター指定管理業務、農業振興活動拠点施設管理運営事業、桑折町振興公社運営補助など) 4,502
危機管理に備えた安全安心のまちづくり		歴史まちづくりの推進(桑折西山城跡を守る会事業補助金) 50
消防・防災の強化(伊達地方消防組合運営負担金、消防団活動費、防火貯水槽新設事業など)	27,244	移住・定住の促進(若者定住促進事業、新婚世帯家賃支援事業、移住支援給付事業など) 1,594
生活安全対策の推進(防犯対策事業、交通安全対策事業、消費者行政対策推進事業)	928	シティプロモーションの推進(献上桃の郷こおりシティプロモーション事業) 2,192
暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり		町民との共創と効率的な行財政運営
都市緑化・景観づくりの推進(緑地公園維持管理事業)	1,005	健全で持続可能な財政運営(ふるさと納税事業、マイナンバーカード交付推進業務など) 8,393
道路・交通ネットワーク整備(橋梁維持事業、町道新設改良事業など)	19,078	行政機能の充実強化(デジタルデバйд対策事業、行政手続きオンライン申請管理システム構築事業) 1,010
居住環境の充実(合併処理浄化槽設置整備補助事業、住生活基本計画策定事業、簡易水道組合調査業務など)	2,472	誰もが参加できるまちづくりの推進(第3次男女共同参画プラン策定業務、SDGs推進町会議事業費補助金など) 2,590
環境共生の推進(桑折地区かわまちづくり整備事業、ごみ再資源化活動奨励金事業)	1,327	広報・広聴の充実(広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務) 437
森林環境の保全(ふくしま森林再生事業、森林病虫害防除事業、半田山自然公園管理業務委託)	6,123	災害復旧事業
環境衛生の充実(伊達地方衛生処理組合運営負担金、一般廃棄物収集運搬業務委託など)	11,808	令和4年3月本県沖地震に係る災害復旧事業(災害等廃棄物処理事業、昭和大橋ほか公共施設災害復旧事業など) 69,472

令和5年度

一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は60億9,260万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、64億4,843万円となりました。

予算補正の主なもの

伊達桑折IC周辺インフラ整備事業	4,261万円	福祉施設等電力・ガス価格高騰支援事業	1,530万円
住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業	3,573万円	農業用資材等高騰緊急支援事業	453万円
こおりプレミアム商品券(第4弾)発行事業	1,896万円		